

授業科目名	スポーツ戦術実践論	授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (応用科目)			
担当教員名	高橋 仁大・濱田 幸二・三浦 健・塩川 勝行			補助担当者名				
単位数	2 単位	履修年次	3年次	受け入れ人数	40名程度			
授業の概要	スポーツ戦術実践論は、主に講義により、球技種目を中心とした試合中の攻防、駆け引きに関する詳細、日常練習での戦術トレーニングを計画的に進めるための基礎理論、戦術分析(試合分析)の基礎理論などについて概説し、選手として、個人戦術やチーム戦術の基本をマスターするとともに、将来コーチ(指導者)として大成するために必要不可欠な諸問題の解決事例を検討する。これにより体育学の知識を用いて応用・分析し、説明することができる能力としての、スポーツ現場での判断力と行動力を高めることや、実践場面でのスカウティング力が身につくことが期待される。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標		成績評価の方法					
			授業期間		定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	個人戦術やチーム戦術の基本を理解する。 戦術トレーニングのための基礎理論を理解する。 戦術分析(試合分析)の基礎理論を理解する。	○		○			60
■情意的領域	選手として戦術を活用することに関心を持つ。 指導者として戦術を活用することに関心を持つ。 戦術分析(試合分析)を活用することに関心を持つ。	○		○				40
□技能的領域								
成績評価の基準	各担当教員の課すレポートの得点と出席点を合計し、60点以上のものを合格とする。1/3以上の欠席により単位は認定されない。							
テキスト、教材 参考書	「スポーツの戦術入門」(ヤーン・ケルン著(朝岡、水上、中川監訳)、大修館、1998) 「THE ESSENTIALS OF PERFORMANCE ANALYSIS」(M. Hughes and I. M. Franks, Routledge, 2008) 他、配付資料等							
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)	本講義ではe-learningシステム「Webclass」を利用して資料配付やレポート提出等を行う					
オフィス・アワー	随時 808教員研究室(濱田)、809教員研究室(高橋)、810教員研究室(塩川)、総合体育館教員室(三浦)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)					
1	高橋 仁大	スポーツ戦術実践論を行うにあたって	小レポート					
2	塩川 勝行	サッカーの戦術と実践①						
3	〃	サッカーの戦術と実践②	レポート					
4	濱田 幸二	バレーボールの戦術と実践①	小レポート					
5	〃	バレーボールの戦術と実践②	小レポート					
6	三浦 健	バスケットボールの戦術と実践						
7	〃	孫子の兵法 一名将の戦略戦術一						
8	高橋 仁大	テニスの戦術と実践①	小レポート					
9	〃	テニスの戦術と実践②	小レポート					
10	〃	スポーツ戦術の基本的考え方	小レポート					
11	〃	戦術の歴史の変遷	小レポート					
12	〃	戦術評価のためのゲーム分析の基本的考え方	小レポート					
13	〃	戦術評価のためのゲーム分析の事例と応用	小レポート					
14	〃	戦術評価のためのスポーツにおける映像活用の最新事例	小レポート					
15	〃	スポーツ戦術の実践に向けて	レポート					